

こっこめ通信 12 2008

「カモマスターになろう！」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

本土に台風の上陸しなかった年の冬は寒さが厳しいといわれています。全国的に寒さが厳しくなった11月20日には、島でも最低気温が9℃を下回りました。その後少し暖かな日が続いていますが、予想通りに今年の冬は寒くなってしまおうのでしょうか？ 寒さの厳しい冬と暖かな冬、どちらの冬が大好きですか？

さて今回は、「島で確認されているRDB種」「これから使える『八丈カモ図鑑』」についてのお話です。

島で確認されているRDB種

植物

和名	カテゴリ
オオキリシマエビネ	CR
ガンゼキラン	CR
キリシマエビネ	CR
ナヨテンマ	CR
ハチジョウツレサギ	CR
ヒノタニリュウビンタイ	CR
ヒロハヒメウラボシ	CR
ムカゴサイシン	CR
ムカゴトンボ	CR
アツタ	EN
オオタニワタリ	EN
オオツルクウジ	EN
オオハクウンラン	EN
オサラン	EN
シマガマズミ	EN
ハチジョウコゴメグサ	EN
ヒロハアツタ	EN
ホンゴウソウ	EN
マヤラン	EN
ヤクシマアカシュラン	EN
ウエマツソウ	VU
エビネ	VU
カゲロウラン	VU
キンラン	VU
サクノキ	VU
ナギラン	VU
ナツエビネ	VU
ハチジョウカンスゲ	VU
ハチジョウネツタイラン	VU
ハルザキヤツシロラン	VU
ヒメジガバチソウ	VU
マツバラ	VU
ムギラン	VU
ユウシュンラン	VU
シマタヌキラン	NT
シマササバラ	NT
タシロラン	NT
ギボウシラン	04 新規
コウズシマクラマゴケ	04 新規
ハチジョウカナワラビ	04 新規
ミヤマムギラン	04 新規
ムカゴソウ	04 新規

鳥類

和名	カテゴリ
シジュウカラガン (迷)	CR
コシャクシギ (迷)	CR
コアホウドリ (旅)	EN
サンカノゴイ (迷)	EN
オジロワシ (迷)	EN
セイタカシギ (旅)	EN
モズケミソサザイ (留)	EN
ヒメクロウミツバメ (繁)	VU
オーストンウミツバメ (繁)	VU
コクガン (迷)	VU
ヒシクイ (迷)	VU
トモエガモ (冬)	VU
オオタカ (冬)	VU
ハヤブサ (冬)	VU
ツバメチドリ (旅)	VU
コアジサシ (旅)	VU
カンムリウミスズメ (繁)	VU
タネコマドリ (留)	VU
アカコッコ (留)	VU
ウチャマセンニュー (夏)	VU
イイジママシクイ (夏)	VU
オーストンヤマガラ (留)	VU
ミソゴイ (夏)	NT
チュウサギ (旅)	NT
マガン (迷)	NT
ミサゴ (冬)	NT
ハイタカ (冬)	NT
オオジシギ (迷)	NT
カラスバト (留)	NT
ノジコ (旅)	NT

陸・淡水産貝類

和名	カテゴリ
ゾウゲツヤノミギセル	CR+EN
ナカダコギセル	CR+EN
ハチジョウキセルガイモドキ	CR+EN
ハチジョウキバサナギガイ	CR+EN
イボイボナメクジ	NT
ウジグントウギセル	NT
トライオンギセル	NT
ハチジョウキビ	DD
ヤマボタルガイ	LP

両生類爬虫類

和名	カテゴリ
オカダトカゲ	LP

RDB (レッドデータブック) とは、環境省が日本の絶滅のおそれのある野生生物の種についてそれらの生息状況等を取りまとめたもので、その現状を多くの人に知ってもらうために作成されました。

では、その危機的な種が八丈島にはどれくらい生息しているのでしょうか？

左の表はレッドデータブックの中から、島で確認されたものをピックアップしたものです。(維管束植物以外の植物IIに記載されている種は、島での生息種を把握していないため除いてあります) 全国的には危機的であっても、島の中では広く分布し、そうではないようなものも含まれています。しかし、島など閉鎖的な環境では、ちょっとした変化で絶滅に追い込まれてしまう場合もあるかもしれません。

生態系の多様性を守るためにも、人間の活動による影響で、野生生物の絶滅があらはならないのです。自然に配慮する心を忘れないようにしなければいけませんね。

- ☆「絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)」絶滅の危機に瀕している種
- ★「絶滅危惧ⅠA類 (CR)」ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
- ★「絶滅危惧ⅠB類 (EN)」ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
- ☆「絶滅危惧Ⅱ類 (VU)」絶滅の危険が増大している種
- ☆「準絶滅危惧 (NT)」現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- ☆「情報不足 (DD)」評価するだけの情報が不足している種
- ☆「絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)」地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

鳥類の分布に関する記号

- (留)：一年中島で見られる留鳥 (繁)：小池根で繁殖している海鳥
- (夏)：春に渡り島で繁殖する夏鳥 (旅)：渡りの途中に島に立ち寄る旅鳥
- (冬)：秋から冬に渡ってきて冬を島で過ごす冬鳥 (迷)：偶発的に来る迷鳥

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

これから使える「ハカモ類図鑑」

カモの仲間は雄と雌で羽色が違います。また、雌はみな同じような色をして、見分けが付きにくいです。そこで今回は島に飛来することの多いカモの仲間を中心に紹介します。（紹介していないカモも飛んできますのでご注意ください！）



マガモ

オス

メス

比較的大型のカモ。オスよりもメスの方が多く飛来します。オスは嘴が黄色で頭部は緑色の光沢、尾羽がカール。



コガモ

オス

メス

渡ってくるカモの中では一番小さく、また一番多く見られます。オスよりもメスの方が多く飛来します。



オナガガモ

オス

メス

体と首が長く、尾が長いのが特徴のカモ。比較的早い時期にわたってくることが多いようです。



オシドリ

オス

メス

渡ってくる個体数は少なく、きれいな繁殖羽のオスはほとんど見られません。メスは眼の後ろの白い線が特徴です。



ヒドリガモ

オス(奥)・メス(手前)

ここ数年渡ってくる数が増えているカモ。飛来数はメスが多いです。嘴が青灰色で先端が黒いのが特徴です。



カルガモ

オス(奥)・メス(手前)

比較的大型のカモ。嘴は黒く先が黄色いが最先端は黒いのが特徴。眼を通る黒いラインが目立つのもポイントです。



ハシビロガモ

オス(奥)・メス(手前)

他のカモとの大きな違いは嘴、大きく幅が広いので見分けが付けやすいです。島への飛来数はとても少ないです。



トモエガモ

オス

極めて稀なカモで特にオスの繁殖羽に出会うことはほとんどありません。メスは嘴の付け根に白い斑があります。



ホシハジロ

オス

極めて稀なカモ。顔は赤茶色で首の付け根は黒、羽は細かい縞模様です。潜水して水草などを食べます。



キンクロハジロ

メス

後頭部に垂れ下がった冠羽があるのが特徴。飛来数は多くありません。潜水して水草などを食べます。



スズガモ

メス

毎年、池や港に降り立ちます。嘴の付け根に白い部分があるのが特徴。潜水して水草などを食べます。



シノリガモ

オス

海岸付近や港の中などに稀に飛来するカモ。オスは派手ですが、雌は目の周辺に白い斑がいくつかあるだけです。



カワアイサ(メス)



コクガン



コハクチョウ



オオハクチョウ(幼鳥)



シジュウカラガン

カモ類の他にもガン類やハクチョウ類なども冬に島にやってきます。これら種類の飛来数はそれほど多くありませんが、バンやオオバンなどの仲間は毎年見られます。



オオバン



バン

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 11 月 9 日 (13 時 30 分～15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 20 年第 10 回) 参加者・菊池昭, VC 神邊

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			木本		
1	アオツツラフジ	熟した実	1	イヌビワ	花と実
2	アオノクマタケラン	熟した実	2	オムラサキシキブ	実
3	アキノノゲシ	花と実	3	ガクアジサイ	実
4	アキメヒシバ	実	4	シマクサギ	実
5	アシタバ	実	5	トベラ	実
6	アメリカイヌホウズキ	花と実	6	ハゼノキ	実と紅葉
7	イガガヤツリ	実	7	ヒサカキ	実と蕾
8	イヌタデ	実	8	ヒメユズリハ	熟した実
9	イヌホウズキ	花と実	9	ホルトノキ	熟した実
10	イワニガナ	花	10	マンリョウ	実
11	ウスベニニガナ	花と実	11	モチノキ	熟した実
12	エダウチチヂミザサ	実	12	ヤツデ	花
13	オニタビラコ	花と実	シダ植物		
14	オヒシバ	実			
15	カタバミ	花と実			
16	カラムシ	実			
17	カリマタガヤ	実			
18	キンエノコロ	実			
19	コシロノセンダングサ	花と実			
20	コブナグサ	実			
21	コミカンソウ	花と実			
22	シマササバラ	実			
23	チヂミザサ	実			
24	ツククサ	花			
25	ツルソバ	花と実			
26	ツワブキ	花			
27	ナキリスゲ	実			
28	ネズミノオ	実			
29	ノコンギク	花			
30	ハキダメギク	花と実			
31	ハチジョウアザミ	花と実			
32	ハチジョウイタドリ	実			
33	ハチジョウシュスラン	実			
34	ハチジョウススキ	実			
35	ヒナギキョウ	花と実	今回はシダ植物 13 種を含め、64 種の植物を観察しました。公園内の植物もそろそろ冬枯れの様相を呈してきました。		
36	ヒメジソ	実			
37	ベニバナボロギク	花と実			
38	メリケンカルカヤ	実			
39	ヤクシソウ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ニホンコキクガシラコウモリ」にスポットを当ててみたいと思います。



ニホンコキクガシラコウモリ

Rhinolophus cornutus cornutus

キクガシラコウモリ科に属するコウモリ。北海道から奄美大島に分布。八丈島に生息する唯一の哺乳動物です。他に生息する哺乳動物は人間の移動とともに島にやってきたか、人為的に放されました。とても小さなコウモリで胴の長さは 4～5cm ほどしかありません。八丈富士の風穴や防空壕などに棲んでいます。

2008 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 ● ガイドウォーク
	07:44 00:31 18:00 12:46	08:18 01:05 18:34 13:21	08:54 01:41 19:12 14:04	09:34 02:20 20:00 15:01	10:20 03:04 21:11 16:17	11:10 03:56 22:59 17:42
大雪 7 ガイドウォーク	8	9	10	11	12	13 ○ ガイドウォーク
12:01 05:02 18:54	00:59 06:20 12:50 19:50	02:32 07:39 13:35 20:38	03:42 08:47 14:18 21:24	04:39 09:44 15:00 22:09	05:31 10:33 15:44 22:54	06:19 11:18 16:28 23:40
14 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	15	16	17	18	19 ●	20 ガイドウォーク
07:04 12:01 17:14	07:46 00:25 18:02 12:44	08:26 01:10 18:51 13:29	09:03 01:54 19:43 14:19	09:37 02:36 20:43 15:19	10:10 03:17 22:04 16:33	04:00 10:46 17:57
冬至 21 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」	22	23 ガイドウォーク	24	25	26	27 ● ガイドウォーク 八丈学講座 「流人・仙次郎の仕事2」 「体験八丈太鼓」
00:02 04:51 11:29 19:12	02:10 06:05 12:21 20:09	03:33 07:40 13:18 20:53	04:22 08:59 14:10 21:32	04:59 09:53 14:56 22:08	05:32 10:34 15:37 22:43	06:02 11:08 16:15 23:16
28 ガイドウォーク	29 ガイドウォーク	30 ガイドウォーク	31 ガイドウォーク			
06:30 11:38 16:50 23:49	年末年始特別行事 06:58 12:08 17:25	「体験八丈太鼓」 07:25 00:21 18:00 12:39	07:50 00:53 18:37 13:11		この色の日は 特別行事があります	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
12/14（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

特別行事

「リースを作ろう」

毎年恒例、クリスマスやお正月に合わせているいろいろなリースを作りましょう！
12/21（13:30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座

「流人・仙次郎の仕事2」

毎月行っている八丈学講座。先月行った仙次郎で行けなかった場所へ行きます。
12/27（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

年末年始特別行事

「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年末年始といえばこれ！ 太鼓たたけばストレスも吹き飛びますよ！
12/27～1/4 ビジターセンターの開館中（9:00～16:45）
いつでも・だれでも・無料

て～こ、はたきにおじゃれ！

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター

2008.12.1 第91号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

島に来るカモの仲間は、雄も雌も一年目の若い個体が多いような気がします。初めての渡りでルートを少し外してしまい、やっと島にたどり着くのでしょうか？ 翌年からはルートを外さないで、きれいな雄の繁殖羽を見る機会が少ないのかもしれないですね。（高）